

平成 27 年度

施設評価調書

施設の名称……吉田松陰寓寄処

所管担当課……教育委員会生涯学習課

平成 27 年 7 月

平成 27 年度	施設名（愛称名）	下田市吉田松陰寓寄処	番号	23
----------	----------	------------	----	----

設置目的の達成度

1 計画(Plan)と実績(Do)

設 置 目 的	吉田松陰寓寄処に関する有形文化財を保存管理し、一般に公開するとともに学術研究の資に供する。					
運 営 事 業 名	25 年値	26 年目標値	26 実績値	対前年比	目標達成率	評価
施設入場者数	2,839 人	3,000 人	4,570 人	160.9%	152.3%	A
設置目的に対する総合評価						A
目 的 達 成 度 の 評 価 基 準	H26.4～7 月は改修工事のため休館 目標値：15 人（大人 12 人,小中学生 3 人）／1 日×25 日/1 月×8 月=3,000 人 評価基準：A=100%以上、B=80～99%、C=60～79%、D=40～59%、E=40%以下					

2 現状分析(Check)

運 営 事 業 の 意 義 と 現 状	平成 26 年 3 月より 7 月までの間、改修工事を実施（茅屋根葺き替え等）。 平成 26 年 8 月 1 日より 9 月 30 日までの間、無料公開を実施（入場者数 1,042 人） 平成 27 年 1 月より入場者数が増加（1 月：649 人、2 月：807 人、3 月 1,134 人）
上 記 の 原 因	入場数の増加に関しては、無料公開及び NKH 大河ドラマ「花燃ゆ」の影響と推測される。

3 次年度以降への改善点(Action)

具 体 的 な 改 善 方 策	静岡県指定文化財（史跡）であるため、静岡県文化財保護条例等により現状変更が制限されている。 入場者数の増加のためには、地域の文化財を活用した総合的な取組などを行うことも必要と考えられる。		
	運 営 事 業 名	H27 年度目標値	備 考
H27 年度運営事業と目標値	公開事業	入場者数 4,500 人	目標値=15 人（大人 12 人,小中学生 3 人）／1 日×25 日/1 月×12 ヶ月=4,500 人

※参考 前年度までの運営事業の実績値と評価 *上覧=目標値、下欄=実績値

運 営 事 業 名	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度
総合評価	B	D	D	D
施設入場者数	6,300 人	6,300 人	6,300 人	4,500 人
	4,850 人	3,380 人	3,213 人	2,839 人

平成 27 年度	施設名（愛称名）	下田市吉田松陰寓寄処	番号	23
----------	----------	------------	----	----

効 率 性

1 計画(Plan)と実績(Do)

効率性指標		25 年度値	26 年目標値	26 年実績値	対前年比	目標達成率
①利用単位 当たり経費	A 施設総利用 者数等	2,839 人	3,000 人	4,570 人	160.9%	152.3%
	B 年間経費	13,300,961 円	13,543,000 円	13,299,488 円	99.9%	101.8%
	B / A	4,686	4,515	2,911	772%	64%
②光熱水費		44,854	45,600	45,723	62.2%	99.7%
③消耗品費		3,055	12,800	28,594	936%	44.8%
効率性指標の考え方等		A. 施設総利用者数＝入場者の実数を集計 B. 年間経費＝施設管理にかかる支出額＋職員人件費（目標値は予算額） 備考：平成 25 年度（債務負担）吉田松陰寓寄処改修工事を実施。 平成 26 年度支出 委託料（工事監理）1,044,600 円 工事費（工事費）10,746,000 円				

2 現状分析(Check)

効 率 性 の 現 状	光熱水費、消耗品費とも必要最小限で抑えられている。
----------------	---------------------------

3 次年度以降への改善点(Action)

具 体 的 な 改 善 方 策	一層の節電、節水を励行したい。		
H27 年度効率性 の 目 標 値	①利用単位当たり経費 B / A	459	年間経費／施設利用者目標値（4,500 人）
	②光熱水費	44,800	予算額（56,000 円）より 20%削減
	③消耗品費	12,800	予算額（16,000 円）より 20%削減

※参考 過去の効率性指標

効率性指標		21 年度	22 年度	23 年度	24 年度
① 利用単位 当たりの経費	目標値	6,300	6,300	6,300	6,300
	A実績値	5,479	4,850	3,380	3,213
	B実績値（7 頁支出 総額＋職員人件費 総経費、除収入）	1,985,180	1,991,588	2,012,933	1,947,123
	B/A	362.3	410.6	595.5	606.1
	対前年比	91%	113%	145%	102%
	目標達成率	86%	77%	53%	53%
② 光熱水費	目標値	56,000（予算額）	58,000（予算額）	58,000（予算額）	49,162
	実績値	55,547	51,066	51,750	52,037
	対前年比	95%	91%	101%	101%
	目標達成率	100%	113%	112%	99%
③ 消耗品費	目標値	9,000（予算額）	12,000（予算額）	12,000（予算額）	6,216
	実績値	21,860	33,964	6,544	5,096
	対前年比	306%	155%	19%	78%
	目標達成率	41%	35%	183%	128%

平成 27 年度

施設名（愛称名）	下田市吉田松陰寓寄処
----------	------------

番号	23
----	----

4 その他の指標

受益者負担 の適正性	区 分	説 明	単位	24 年度	25 年度	26 年度
	①使用料原価	1 m ² 1 時間当たりの原価	円	4.25	4.04	4.41
	②稼働割原価率	年間経費を年間収入で賄えない比率	%	513.60	670.31	439.20
	③ 1 m ² 1 時間適正使用料	①×②	円	21.79	27.02	19.37
	④ 現行 1 m ² 1 時間使用料の平均	—				
	⑤適正化計画	—				

【算出式（小数点 3 位以下繰上）】

①使用料原価（1 m² 1 時間当たりの原価）＝（人件費＋物件費）÷総面積÷年間使用可能時間

②稼働割原価率（年間経費を年間収入で賄えない比率）＝年間経費÷年間使用料収入

③ 1 m² 1 時間適正使用料＝1 m² 1 時間当たりの原価×年間経費を年間収入で賄えない比率

運営に掛かる税負担 (市民負担)	年度		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	H27 年度(予算)
	人口（4 月 1 日：人）		24,515	24,230	23,864	23,444
	人口 1 人あたり（円/人）	運営経費（収入除く）	73.7	542	550.1	80.6
		下田市負担年間総経費	66.5	300.9	295.9	71.3

*人口 1 人あたりの運営経費＝運営経費（支出合計、職員人件費除く）／人口

*人口 1 人あたりの年間総経費＝下田市負担年間総経費（支出＋職員人件費－収入）／人口

*小数点以下 2 位繰り上げ

平成 27 年度	施設名（愛称名）	下田市吉田松陰寓寄処	番号	23
----------	----------	------------	----	----

利用者満足度調査

実施の有無	☐ 有 ☒ 無	調査の方法		H 年度調査数	件
○貸館利用者向け					
1 調査結果					
設問	回答種類	H 年度回答数	H 年度回答数	H 年度回答数	
	1				
	2				
	3				
	1				
	2				
	3				
	1				
	2				
	3				
※今年度寄せられたクレーム等 大きな苦情は寄せられなかった。 大型バスの駐車場に関する問い合わせが多い。 施設パンフレット等の発行を求める声がある					
2 調査結果から読み取れること					
3 次年度以降への改善点					

施設修繕計画及び備品購入計画

*

破損年度	全ての破損した箇所・備品名	経費	修繕・買換等 予定年度	備考（修繕済年度等）
	吉田松陰寓寄処（家屋）下田市取得	—		昭和 55 年寄附
	屋根補修工事	230,000		昭和 58 年実施
	火災報知機設置並びに諸修繕工事	600,000		昭和 60 年設置
	便所新築工事	1,263,000		昭和 63 年新築
	屋根葺替・部分修理（土間・建具等）	17,442,020		平成 3 年実施
	屋根修繕（鶯巣部分）	—		平成 8 年実施
	屋根修繕・竹垣修繕	2,067,850		平成 16 年実施
	冠木門修繕	262,500		平成 20 年実施
	茅屋根葺き替え、竹垣復旧、便所整備	23,273,700		平成 26 年 3 月~7 月実施
H26	便所外壁修繕	検討中	平成 28 年度	
※今後想定される維持管理事項 ・耐震化についての検討 （H22 静岡県文化財建造物耐震診断指針策定委員会による予備基礎診断実施済）				

平成 27 年度	施設名（愛称名）	下田市吉田松陰寓寄処	番号	23
----------	----------	------------	----	----

管理運営上のその他評価項目

当該施設の必要性 廃止、休止等の可能性 施設の設置目的変更の可能性	幕末開港の歴史をもつ下田市を代表する史跡として、児童生徒の学習活動や入場者の歴史理解に寄与しており、必要である。 静岡県指定文化財（史跡）であるため除却・廃止はできない。 文化財の保存と学術研究に供することが目的である。
民間による管理運営の可能性 今後の管理運営主体の見込み 行政関与の妥当性	「公の施設の管理運営等に関するガイドライン」に基づき検討したが、指定管理者制度の活用のメリットが見込めないと考えられるため、当面、直営で施設の管理を行いたい。
施設の管理運営と経費の妥当性	通常の維持管理費は必要最小限度で抑えられているが、修繕に際しては文化財保護に即した特殊な技術が要求されるため、費用は高額となる。
施設の性質や実費経費からみた 受益者負担の妥当性	史跡としての規模と内容を考慮すれば妥当な金額である。 例）岩科学校：大人 300 円 中学生以下無料 菰山代官屋敷：大人 200 円小・中学生 100 円
その他の管理運営上の課題	
【参考】 市内や賀茂郡内の類似施設の管理運営状況等	同規模で同種の施設は無い。

平成 26 年度 実施運営事業内容

運営事業名	事業内容	次年度に向けての改善事項
芸術文化振興事業（6500 事業）	吉田松陰寓寄処管理を含む	
	管理人（2 名雇用）による公開・管理	

平成 27 年度	施設名（愛称名）	下田市吉田松陰寓寄処	番号	23
----------	----------	------------	----	----

施 設 の 概 要

1 施設名 (愛称名)	下田市吉田松陰寓寄処		2 担当課 担当係	生涯学習課 社会教育係		
3 所在地	下田市蓮台寺 300 番地		4 設置年月	昭和 55 年 4 月 1 日		
5 総合計画の 位置付け	Ⅱ 人が輝くまちづくり		1 自ら学ぶ人づくり			
	基 本 目 標		歴史的・文化的資源を保存、継承し、文化芸術活動を推進します			
	基本目標を実現 するための施策		項目 文化財などの保存、継承		内容 文化財の維持管理	
6 設置目的	吉田松陰寓寄処に関する有形文化財を保存管理し、一般に公開するとともに学術研究の資に供する					
7 設置根拠	下田市吉田松陰寓寄処設置管理条例					
8 施設の概要	施設の概要		敷地面積 184.495 m ² 建物延面積 105.74 m ² 1F 90.31 m ² 2F 15.43 m ² 建築年：江戸時代（後期） 構造：木造平屋建、一部中二階、茅葺、東入母屋造、西寄棟造 指定内容：静岡県指定文化財 種別：史跡 指定年月日：昭和 16 年 10 月 27 日			
	実 施 事 業 の 概 要		幕末期に下田に来訪した吉田松陰ゆかりの史跡の保存管理と学術研究に資するため一般公開を実施。			
	料 金 体 系		(入場料)			
			第 5 条 寓寄処の参観のため入場する者の入場料は次のとおりとする。 (1) 小・中学生 50 円 (2) 一般（高校生以上） 100 円 (3) 団体割引 30 人以上 1 割引 2 入場料は原則として入場の際徴収する。			
			主 種別 単位 昼 夜 昼夜 備考			
			小・中学生 1 人 50 円 — —			
			一般 1 人 100 円 — —			
	減 免 内 容		団体 30 人以上 1 割引 — —			
			(入場料の免除) 第 6 条 前条の規定にかかわらず教育委員会が公益上特に必要と認める場合は入場料の全部又は一部を免除することができる。			
	利用料金制度		☐ 有 ☒ 無			
施 設 運 営 方 法		☒ 直接運営 ☐ 指定管理者制度 → 指定管理者 ☐ 一部委託 → 委託内容				
直接従事職員		下田市職員数 1 名 臨時職員 2 名 (管理人・施設管理は常時 1 名)				
9 市 内 の 類似施設	下田市所有	なし				
	民間所有	なし				

平成 27 年度	施設名（愛称名）	下田市吉田松陰寓寄処	番号	23
----------	----------	------------	----	----

10 取得費等の情報 (単位：円)	取得費及び財源内訳		平成 26 年度末残高		(備考) 減価償却対象外		
	土地取得費	借地	土地残高	0			
	建物取得費	寄附	建物減価償却後残高				
	財源内訳						
	国・県支出金						
	市債		市債残高				
	一般財源						
	寄附金等						
	物品(*万円以上)		物品減価償却後残高	0			
11 年間経費等推移 (単位：円)	区 分		H24 年度決算	H25 年度決算	H26 年度決算	H27 年度予算	
	収入	入場料収入	317,330	271,200	343,560	396,000	
		県費補助金	0	5,741,000	5,895,000	0	
	収 入 合 計		317,330	6,012,200	6,238,560	396,000	
	支出	7 節 賃金(管理人)	1,453,794	1,315,019	961,200	1,478,000	
		11 節 需用費	57,133	47,909	76,817	102,000	
		消耗品費	5,096	3,055	28,594	16,000	
		光熱水費	52,037	44,854	45,723	56,000	
		印刷製本費	0	0	0	30,000	
		修繕料	0	0	2,500	0	
		12 節 役務費	19,886	11,334	11,426	21,000	
		13 節 委託料	38,608	991,708	1,084,311	40,000	
		14節 使用料及び賃借料	235,285	235,285	247,285	248,000	
		15 節 工事請負費	0	10,530,000	10,746,000	0	
		支出合計	1,804,706	13,131,255	13,127,039	1,889,000	
	減価償却費		0	0	0	0	
	市債利子		0	0	0	0	
	職員人件費		142,417	169,706	172,449	177,665	
	下田市負担年間総経費		1,629,793	7,288,761	7,060,928	1,670,665	
	備考	○人件費は、実額を算出記載(当年度の人件費総額を按分し、事務量を勘案の上 1/40 人工で算出した。) ○総経費＝支出合計＋職員人件費－収入合計 ○平成 25 年度（債務負担）吉田松陰寓寄処改修事業 総事業費 23,273,700 円（25 年度 11,483,100 円、26 年度 11,790,600 円） 事業費内訳 1.実施設計業務委託 653,100 円 2. 工事監理業務委託 1,344,600 円 県費補助 1/2 3.改修工事 21,276,000 円 県費補助 1/2 ○改修事業のため、平成 26 年 3 月 1 日より同年 7 月 31 日まで休館					
12 施設利用状況等の推移	利用状況	利用年度		H24 年度決算	H25 年度決算	H26 年度決算	H27 年度予算
		利用者数	市 内	— 人	— 人	— 人	— 人
			市 外	— 人	— 人	— 人	— 人
			合 計	3,213 人	2,839 人	4,570 人	— 人
	参考：利用単位	508 円/人	2,568 円/人	1,546 円/人	— 円/人		
	当たり市負担額	算出方法：11 欄の「下田市負担年間総経費」÷利用者数					
	休館日	水曜日及び 12 月 29 日から 1 月 3 日まで（H13 より年始臨時公開実施）					
使用時間	午前 9 時から午後 5 時まで						

(参考資料) 特になし